

週報 第3281回

会 長 渡辺 万寿 副会長 瀧谷 達
幹 事 根尾 玲子 SAA 中田 広宣

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会(2025年3月7日) 第3281回

■ プログラム

クラブフォーラム

細川 嘉則 親睦活動委員長

■ 次週のプログラム

3月14日: 卓話担当 松内 俊夫 会員

■ 今後の予定

・3月21日: 卓話担当 南出 和成 会員

■ 祝 誕生日

瀧谷 達(12日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

早春賦

春は名のみの	風の寒さや
谷のうぐいす	歌は思えど
時にあらずと	声もたてず
時にあらずと	声もたてず

■ 先週の例会



会長の時間 渡辺 万寿 会長

ロサンゼルス地域で発生した大規模な山火事により、少なくとも1万2千棟の建物が崩壊し、住宅地が焼け野原となり、数万人が避難を余儀なくされました。

文: Clara Germani

SHARE: SHARE ON FACEBOOK TWEET THIS PAGE EMAIL THIS PAGE

2025年1月7日、ビル・“チリー”・チリングワースさんはカリフォルニア州パシフィック・パリセーズの自宅を出て、60マイル南にある取引先に向かいました。その日は、普段と変わらない晴れた火曜日でした。しかし、彼がこの自宅を目にするのは、これが最後となりました。午後、成人した娘から、チリングワースさんと婚約

者が住む町の近くの溪谷から山火事の煙が太平洋岸に迫っているのを見たとき電話がありました。最初は気にも留めませんでした。というのも、彼の住む地域は緑の芝生が広がる平坦な土地で、周囲に乾いた草地もないため、山火事の危険はほとんどないと考えていたからです。しかし、携帯電話の通知が鳴って避難指示が出た瞬間、突如としてパニックに陥りました。急いで自宅のある北に向かって車を走らせ、避難時に持ち出すことになっている「p」の付くもの（「人びと=people」、「ペット=pets」、「写真=pictures」、「書類=paperwork」）を持って避難するよう婚約者に電話で伝えました。

支援の方法

- ・ロータリーの**災害救援基金に寄付**する。山火事の被災地域にあるロータリー地区は、必需品を即時に提供するための**補助金を申請**できます。
- ・Raise for Rotaryを活用して**募金活動**を立ち上げ、ほかの会員や友人・家族から寄付を募る。
- ・ロータリー会員による被災者救援活動や**第5280地区と第5300地区による救援活動**について学ぶ。

サンタモニカ近くのピザ屋で婚約者と会っていると、携帯電話にまた通知が届きました。新しい通知音が鳴るたびに、希望が少しずつ失われていきました。「自宅の寝室にある煙探知機が煙を検出したんです……。5分後、台所が非常に熱くなっているという通知が来ました……。さらに5分後、洗濯室で過剰な熱が検出されたという通知が届き、そしてついには玄関のドアが開けられたという通知が届きました。その後も、玄関ドアがまだ開いているという通知が2回届き、30分後に通知は完全に止まりました。そのとき、家も何もかも失ってしまったことを悟りました」

チリングワースさんは、独自のユーモアを交えてこの辛い体験を語ります。火事がきっかけで、彼と婚約者は30年間の禁酒を破ってしまったと笑いながら話します。靴や下着を買うためにアウトレットモールに行った際、自分が数千人の避難者の一人に過ぎないことに気づき、再出発できるだけの経済的な余裕があるだけ幸いだったと感じました。しかし、電話インタビューの中で、彼の声は2度震えました。自分の住んでいた地域が燃えているのをテレビで見たときの「深い悲し

み」、そして地域社会での奉仕活動で「与える側」と「受け取る側」の両方を体験したことについて話したときでした。

ロータリーのネットワークが被災者を支援

ロータリーは支援を行う側と受ける側をつなげる場があると、チリングワースさんは言います。35年来のロータリー会員で、サンタモニカ・ロータリークラブの会長エレクトである彼の元に、世界中のロータリー仲間から支援の申し出が続々と届いています。このつながりが、彼が2回の大規模な募金イベントを計画し、参加する際の支えとなっています。3月1日には、毎年恒例のクラブの150,000ドル・チャリティーガラが行われ、その収益の大部分が山火事の被災者救援に使われる予定です。チリングワースさんはまた、1月下旬に**シアトルで行われる募金イベント**で、山火事の経験についてリモートで講演することになっています。

「迅速に行動を起こすのがロータリー」とチリングワースさん。彼のクラブでは、100人以上いる会員のうち四分の一近くが自宅を失ったにもかかわらず、積極的に支援活動を行っています。近隣にあるもっと小さなパシフィック・パリセーズ・ロータリークラブでは、全会員が家を失い、クラブの例会場も焼けてしまいました。被災者の支援においては、迅速さだけでなく、的確さも重要だと、ブレイディ・コネルさん（ロータリー第5280地区ガバナーノミニ、プラヤ・ヴェニス・サンライズ・ロータリークラブ会員）は強調します。支援したいという気持ちがあっても、やみくもに物資を集めるのではなく、より計画的なニーズ調査が必要だと、過去の教訓から学びました。「地域とのつながりが深いロータリアンの力がここで発揮される」とコネルさんは言います。ロータリー会員たちは、避難者のために保険や連邦緊急事態管理局(FEMA)の書類作成を手伝ったり、空き部屋を提供したり、必要な資金や物資(衣服や食料)を届けたりしています。しかし、支援活動にはもっと長期的な視点が必要だと述べるコネルさんのクラブでは、サンタモニカのクラブと連携し、「自宅の焼け後に戻った被災者が必要とする支援」に目を向けています。両クラブは、自宅の焼け跡に戻った被災者たちが灰の中から安全に所持品を見つけられるよう、ふるいと防護具を提供しています。150個のふるいを地元のホームセンターが寄付したほか、会員たちは保護用ゴーグル、作業着、手袋、ブーツなどの防護キット

を購入するために**第5280地区の山火事災害救援基金**からの補助金を申請しました。

ロサンゼルス全域でロータリーの活動を指揮しているのは、第5280地区ガバナーのアルバート・ヘルナンデスさんです。彼は、1月下旬の時点でまだ燃え続けている2カ所の間に位置する町で、ホームレス支援の非営利団体を運営しています。この活動を通じてこれまで人びとのニーズに対応してきたヘルナンデスさんによると、ニーズは「寄付金」と「精神的な支え」の二つのカテゴリーに分けられます。「寄付金があれば、必要なものを必要なときに買うことができる」とヘルナンデスさん。彼は、保管スペースがないためにロサンゼルス地域にある複数の避難センターが食料や衣類の寄贈を断っているのを目にしてきました。地区の山火事災害救援基金には1月20日までに25万ドルが寄せられており、この資金は地域の支援団体や、家や事業所を失ったロータリー会員への支援、さらにクラブが立ち上げたプロジェクトへのマッチング補助金として使われます。ヘルナンデスさんは、災害時に見られる地域社会の強い絆を「精神的な支え」と呼びます。危機対応時のこのような親密な絆は、国内外に広がり、多くの支援の申し出を呼び起こしていると彼は言います。特に、長年にわたり海外で奉仕活動を行ってきた彼にとって、今回の山火事でロータリーの奉仕の受け手になったことは感慨深い経験でした。支援を申し出たクラブには、今も戦争が続くウクライナのクラブもありました。

今後ますます厳しくなる火災シーズンについて、ヘルナンデスさんは警鐘を鳴らします。「多くの人は、私たちが家を失ったことを心配しています。しかし、事業も失ったことや、学校が焼けてしまったこと、そして子どもたちが学校に通えなくなったことも忘れてはなりません」と彼は言います。「日常生活にいつ戻れるのか、人びとは不安を抱えています」

— 2025年1月 財団室NEWS 2025年2月号・myロータリー

幹事報告

根尾 玲子 幹事

○本日皆様のメールボックスに、「抜萃のつづり」を入れさせて頂いております。ご一読をお願い致します。

○次週のプログラムの変更のお知らせ。

次週3月7日(金)は、クラブフォーラム 細川親睦活動委員長、4月4日(金)のクラブフォーラムが、道正田クラブ奉仕部門担当理事のプログラムとなります。

○次週3月7日(金)は、理事役員会の開催予定日です。関係者の方はご出席方、どうぞよろしくお願い致します。

委員会報告

○本日例会終了後、くすのきの間で ロータリー財団委員会・グローバル基金財務委員会・米山記念奨学金委員会の合同委員会を行いますので、関係者の方はよろしくお願い致します。

(西端 政博 国際奉仕部門担当理事)

○先日の工場見学にお忙しい中、16名の会員の皆様にご参加頂きありがとうございました。又、皆様のご協力でスムーズに行うことが出来ましたので、こちらもお礼申し上げます。ありがとうございました。

(山本 博章 職業奉仕委員長)

○本日例会終了後、みやびの間で70周年実行委員会を行いますので、関係者の方よろしくお願い致します。(臼谷 喜世彦 70周年実行委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数43名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
2/28	34名	9名	—	79.07%
2/14	30名	13名	5名	81.40%

■ メークアップ

榎本(2/17 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

岡本(2/13 献血活動)

櫻井、瀧谷、植村(2/7 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・生福寺 住職 石原成昭様、本日はお忙しい所お越し頂き誠にありがとうございます(渡辺)
- ・石原成昭様、本日はようこそお越し下さいました。本日の卓話を宜しく願います(根尾)
- ・石原成昭様、本日 卓話よろしく願います(中田)
- ・先週の工場見学に参加頂いた皆様、ありがとうございます。又、例会時間の変更等 ご協力頂き会員の皆様、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます(山本)
- ・例会欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	17,000円
累計	593,500円



先週のプログラム



卓話講師 生福寺 住職 石原 成昭 様

こんにちは。ご紹介をいただきました石原成昭と申します。よろしくお願い致します。今日も会場に入ってきたら、知っているホテルの方から今日はプロジェクターは使わないの？と言われましたが、今日は紙資料にしました。捨てていただいてもいいのですが、捨てる前に読んでいただいたらと思います。

渡辺会長さんとはあまり話したことはないのですが、初めてお会いしたのが10数年前の大船渡でした。泉大津ロータリークラブさんと大船渡西ロータリークラブさんが震災以降に交流があったそうです。今でも大船渡のメモリアルパークには震災時に、復興の支援をされたロータリークラブさんのお名前が

刻まれています。その中には泉大津ロータリークラブさんのお名前も刻まれています。

ご存知かと思いますが、現在、大船渡は大変な状況になっています。まっちゃんから卓話のお話を伺ったのが、1月でした。その時は泉大津さんま祭りを中心にお話をしようと思っていましたが、今回は家事の事もおはなしできたらな、と思っています。

瀧谷さん 泉大津の面積ってご存知ですか？

「すみません。勉強不足で」泉大津の面積は14,33平方キロです。では渡辺会長、大船渡に行かれたことあると思うのですが、大船渡の面積はどれくらいだと思いますか？「大きいですからね。人口は3万2,3千人くらいですかね」大船渡の面積は323平方キロです。泉大津の22倍の面積があります。大船渡の人口が1月末時点で31,991名。世帯数で言えば14,700世帯くらいです。現在避難指示が出てるのが、1,340世帯。ということは大船渡の十分の一の世帯に避難指示が出ていることになります。人口でいえば3,306人。全体の1割の方に避難指示が出ている大変な状況にあります。

私が大船渡に行けば必ず訪問するおばちゃんがありますが、その方は震災の時に家業であったクリー

ニング屋さんが津波で流され、一時は仮設住宅におられました。今は復興住宅に住んでおられ、そのキーマンになっておられ、ラヂオ体操やら、井戸端会議をされています。この方の実家や親類のお家も今回の山林火災で焼失してしまったそうです。そのような状況なので、これから何ができるか、わからないが、資料の後ろのほうに、新聞記事のコピーで大船渡船上回向とあります。これは毎年、3.11の前に牡蠣の漁師さんに船を出してもらって大船渡湾で亡くなった方、未だに行方不明の方のご回向をしています。船の写真と当日お供えする念佛石と菊の写真をつけています。石は春日町の森下石材店さんでいただき念佛を書いています。菊の花は大船渡の花屋さんで購入しています。

そして写真に写っている大船渡のお寺の住職さんと一緒に行っています。

今年も3月の5日6日に大船渡に行く予定ですが、このような状況なので思案をしています。(今年の船上回向は火災が鎮火に至っていないので中止にしました)

今後は寄付金などで支援をしていきたいと考えています。資料にもありますが、知り合いが代表をしている大船渡の一般社団法人大船渡地域戦略が支援をしているので紹介しています。私は表紙にも書いていますが、さんりく大船渡ふるさと大使を拝命しています。なんとか大船渡の力になれたらと思っていますし、大船渡市のPRをしていきたいと思っています。私のふるさと大使の名刺を大船渡の博物館や椿館にお持ちいただくと無料で入れます(笑)ご希望の方は資料の表紙に私の連絡先を書いています。

思い起こせばロータリークラブさんには15年以上前に藤野先輩と一緒に例会体験をしましたが、皆さんのようにロータリアンとしては、よう活動できませんので、自分自身で仲間ととぼとぼと活動をしています。その一つが皆さんにも大変お世話になっている泉大津さんま祭りです。まっちゃんも言ってくれましたが、去年は11回目の開催をさせていただきました。コロナ禍で2年間は出来ませんでした。震災の翌年から継続しています。今年も11月に12回目のさんま祭りをやろうと思っています。ご存知の方も、そして

多大なご支援を頂いている方もおられますが、去年のさんま祭りを簡単に紹介させていただきます。

去年は11月10日に幹事の根尾先生のお近くの池上曾根史跡公園で行いました。泉大津には適当な場所がないので和泉市で行っています。よく言われますが、何で?和泉市でやってるのに泉大津さんま祭りなん?って。これは“泉大津さんま祭り”を一つの単語としてこだわっています。去年は1,300尾のさんまを大船渡から購入して1尾350円で販売しました。早朝から多くの方に並んでいただき約50分で完売しました。またスタッフ、出演者用に250尾を購入しているの合計で1,550尾の新鮮なさんまを購入しています。去年はなんとか黒字になりましたが、以前はずっと赤字でした。前はそれでもさんまの販売代金の一部を応援金として寄付をしていましたが、現在はさんまの収益は会計に入れて、募金などを大船渡市に、また去年は能登地震の支援活動に使用させていただきました。大船渡への寄付金については資料に領収証などをつけています。去年は8,000名の方にご来場いただきました。10年を経て、地域の皆様にも知っていただける事業になったのかなと感じています。

また53ブースを出展していただきました。多くの方のお力添えのお陰です。ロータリークラブの中でも瀧谷さんにチケットを作ってもらったり、植村先輩には警備で大変お世話になっています。

行政関係には後援名義をいただき、特別協賛として、大船渡商工会議所さん、ナックスさん、カーステーションカワカミさん、はやぶさ国際バスさんにお支えいただいています。もしこちらに泉大津商工会議所の方がおられたら、よろしく願いします。おられたら、おられたらよろしく願いします(大変失礼しました)

また非営利のブースとして、泉大津警察さん、泉大津消防本部さん、海上保安庁さん、信太山自衛隊さん、自衛隊の地本さん、府立弥生博さん、泉大津防災士の会さんをご厚意でブースを出していただきました。またのぼりのご協賛もたくさんしていただきました。今年もよろしく願いします。

次のページからは、こだわりの開会式、そして絵画コ

ンクールがあります。

開会式では必ず国歌独唱から始めています。次に大船渡の方言であるラヂオ体操をしています。こちらはラヂオ体操指導者の金原さんに前でやっていただきました。(金原さんは防災士でもあり、一緒にラヂオ番組をしています)来賓には遠藤敬衆議院議員をはじめ府議会議員の先生、また大船渡の市議会議員さん、大船渡観光協会さん、関西岩手県人会さん、岩手県大阪事務所さんにもご臨席いただきました。ステージパフォーマンスも充実していたと思っています。昨年は大阪・関西万博の機運醸成として協会にお願いしてキャラクターのミャクミャクに来てもらったり、和泉市選出の森先輩が、府議会で万博推進特別委員会の委員長をされているので進捗状況をお話いただきました。

また金原さんがプロデュースをされているシニアダンスチームの【まかろん】が万博の共創プロジェクトに参加されているので万博テーマ曲であるコブクロの「この地球のつづきを」に合わせてダンスをしていただきました。毎年の恒例の絵画コンクールでも多くの方に支えていただき行っています。教育委員会の後援をしてもらい、総合体育館さん、北公民館さん、アトリエSubaruさん、協賛では大船渡のさいとう製菓さん、鎌田水産さんには特にお世話になっています。

昨年は136の素敵なさんまの絵をご応募いただきました。ミャクミャクは表彰式にも出てくれたので入賞された子どもさんにとっていい思い出の一つになったかなと思っています。毎年、出してくれる子もいます。そして年々レベルが上がってきています。ただ小学校によって数十枚の作品を出して下さる学校がある一方、1枚も出していられない学校もあるので今後の課題やと考えています。1月8日に大船渡を訪問して渚上市長さんに、直接、見舞金をお渡ししました。今年もさんま祭りを開催しますので、本年も特別協賛、のぼりのご協賛をいただきますようお願い致します。

私の担当している番組のスポンサーを募集しています。地域の話から防災等幅広くお伝えしている番組です。ぜひこちらもよろしくお願い致します。

過去の記録をみてみたら2012年の7月に、これもまっちゃんに言われたかと思うのですが卓話をさせてもらってます。その時のテーマが「大船渡とさんま祭り」でした。結局13年前から、同じようなことをやっていますが、継続することの難しさを、回を重ねるごとに強く感じています。始めたころからしたら、年もとってますし、体力的にも衰えを感じるし、メンバーも高齢化していますし、温度差もあります。

また先ほど臼谷さんにも相談しましたが、急に足がポキポキってなり、みゆき会救急内視鏡クリニックから、新しくできた急性期メディカルセンターへ紹介していただき、レントゲン、MRIで診てもらいました。その結果半月板後根損傷になってしまい、水を抜いたり、ヒアルロン酸を入れたり、ロキソニンで痛みを抑えながらの生活をしています。いずれは手術をしないといけないのですが、体重があり過ぎるそうです。そんな状況です。さんりく大船渡ふるさと大使として、今回の火災の支援はもとより、大船渡の方と、関係人口は増やすには、どうすればよいか協議をしながら大船渡と関わっています。これもご縁かなと思います。関わった以上、途中で投げ出すことはできませんから、今後も大船渡と関わっていきたいと思っています。1月にお会いした渚上市長さんですが、JCの先輩でもありますし、本当に明るい方なのですが昨日もテレビで記者会見を拝見しましたが、憔悴しきっておられるようでした。何とか、外からの支援しかできませんが、今後はニーズを把握して、ロータリークラブの皆さんにもお力添えを願うためにお願いするかもしれません。その時はよろしくお願いします。

会長、また14年ぶりに大船渡に行きましょう。今回も貴重な機会を与えていただき有り難うございました。毎回毎回拙いお話を聴いていただき有り難うございました。今後もぜひお力添えをお願いします、助けて下さい。本日は有り難うございました。